農業と食を通じた〝元気〟づくり

組合員とＪＡのコミュニティ誌わい！わい！ひまわり

vol. 400

Wai!Wai! Himawari

特集 第75回通常総代会



組合員とともに JA自己改革 実践中 JAひまわり

8
AUGUST
2023

JAひまわり

新役員あいさつ



代表理事組合長
今泉　秀哉

この度、ひまわり農協の組合長に就任いたしました今泉秀哉です。この重責に覚悟をもって、組合員・役職員の皆様とともに農業協同組合の使命を果たすべく全力で精進いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、社会・経済情勢はかつてない速さで変化しています。農業や農協を取り巻く環境も例外ではありません。むしろ、他の産業以上に課題山積で大変革が求められています。変化に対応できなければ、なくてはならない農業・食料の未来はありません。

何よりも大事なのは、様々な農業の担い手を確保し、生産基盤の拡充を目指さなければならないことです。そのために農協がどのような取り組みに重点を置き、効果的な支援を実現していけるのか、今年度が最終年度となる第10次中期総合計画の総括を行い、令和６年度からの第11次中期総合計画で具体化し、出来ることからスピード感をもって進めていく必要があります。

多くの組合員の皆様の思いを事業活動に具体化すべく全力で進めてまいりますので、ともに頑張りましょう。



専務理事
（企画･管理担当）
伴野　雅章

この度、専務理事に再任を頂き、改めてその重責を痛感すると共に、全力でその職務を全うする決意です。

昨今、生産資材やエネルギー等の価格が高騰する中、加えて、６月初めに発生した集中豪雨においては、農業をはじめ組合員のくらしに大きな影響を及ぼしました。今こそ、組合員の営農とくらしを支えるため、地域農業の持続的な発展と豊かなくらしの実現に向け、農産物の適正な価格形成の構築、また地産地消の促進に積極的に取り組んでいきたいと思います。

今後とも組合員の皆様と共に地域から信頼される事業活動に努めてまいります。一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



常務理事
（信用共済事業担当）
吉村　正則

ＪＡを取り巻く情勢、また事業運営を行っていくうえでの経営環境が今後においても、更に厳しさを増すことが想定されます。

このような状況の中、正組合員の農業所得等の向上とくらしを支える地域サービスの安定的供給を目指した「不断の自己改革」を着実に実践するとともに、これまで築き上げた顧客基盤を次世代へ繋げるべく、組合員・利用者の皆様との関係強化を徹底していき、安心・信頼・満足を今以上に感じて頂けるよう努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。



常務理事
（経済事業担当）
木藤　昇一

先行き不透明な社会・経済情勢のなか、生産コストの増加など農業経営の厳しさが続いております。

そのような状況のなか、当ＪＡの基本目標「農業と食を通じた〝元気、づくり」を目指し、この度の総代会にて承認されました地域営農ビジョン（2023～2026年度）の着実な実践、新たに整備されます集出荷施設の円滑で効果的な運営に取り組むとともに、生活事業を通じた健康で安全なくらしの支援など、地域農業の振興支援と多様な組合員ニーズへの対応に尽力してまいります。

つきましては、組合員の皆様方のご理解とご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。



常勤監事
大井　年弘

この度、常勤監事に選任され、監事としての役割を果たすべく最善を尽くしていく思いです。近年、業務のシステム化が急速に進んでおり、監査人として監査技術の向上が強く求められています。ＪＡが地域農業の発展に寄与し、組合員・利用者の皆様方のための協同組織として、機能を十分発揮できるよう経営の健全化を図るとともに、不祥事の未然防止に努め、常に公正不偏の態度を保持し、コンプライアンス態勢の検証と事業運営の健全性を確保するための監査を行ってまいります。

今後とも、組合員・利用者の皆様方から信頼されるよう努めてまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

Wai!Wai! Himawari
組合員とＪＡのコミュニティ誌　わい！わい！ひまわり
2023 AUGUST 8
vol.400

2　特集 第75回通常総代会
10　ひまわりダイジェスト
12　農 −Farmers−
13　部会とともに
14　げんきの源
15　暮らしサプリぷらす
16　園 −Gardening−
17　家庭菜園
18　SDGsな女性部
19　To the future −未来へ−
20　ひまわり掲示板
22　MEMBER'S VOICE
　　地域農業応援店のWA!
23　理事会報告
　　ひまわりキッズ
24　お出かけまりくん



特集 第75回通常総代会

第75回通常総代会が6月21日に豊川市文化会館にて開催されました。議長に選任された丸山基成氏（小坂井地区総代）の議事進行により全ての議案が原案どおり承認可決されました。

総代会の開催にあたり、7会場で事前説明会が行われ、多くの質問・意見をいただきました。質問とその回答については資料にまとめ、総代会当日に配付させていただきました。

今回の特集では総代会にて上程された議案のうち、第1号議案と第5号議案についてご紹介します。



第75回通常総代会　上程議案

第1号議案	令和4年度の事業報告及び剰余金処分案について
第2号議案	定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について
第3号議案	農地利用調整に関する事業規程の一部変更について
第4号議案	地域営農ビジョン（2023～2026年度）の設定について
第5号議案	令和5年度事業計画の設定について
第6号議案	役員の選任について
第7号議案	令和5年度における理事及び監事の報酬額について
第8号議案	退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
第9号議案	農産物の受検及び代金等の受領手続きの委任について
附帯決議（案）	

事業活動の内容と成果

３年以上に渡る新型コロナウイルス感染症拡大により、生活様式をはじめとする社会情勢は大きく変化しました。

農業分野では依然として生産資材など各種原料価格の高止まりが続き、農畜産物の価格転嫁も進まないことから、農業界全体が大きな影響を受けています。

このような情勢の中、当ＪＡにおいては管内農業とくらしを守る施策として、農業生産性向上対策支援事業の継続に加え、物価高騰に対する緊急支援策を実施しました。

また、第10次中期総合計画に基づく総合施設整備計画により、支店の整備や新たな集出荷場の整備を進めるなど「経営基盤の確立・強化対策」に取り組みました。

このような取り組みのもと、令和４年度におきましては、販売品販売総取扱高１１１億円、購買品供給総取扱高46億円、貯金残高３，３６３億円、貸出金６６４億円、長期共済保有高６，２６２億円の実績を挙げることが出来ました。


スプレーマム新品種検討会


若手生産者との意見交換会


食育キャラバン隊による食育活動


まりくんカレッジでSDGｓを学ぶ



11月８日「とよかわ大葉の日」制定



JA組合員講座を開催


農産物まつりを開催


新規事業創出プロジェクトに挑戦する職員

令和４年度 事業報告

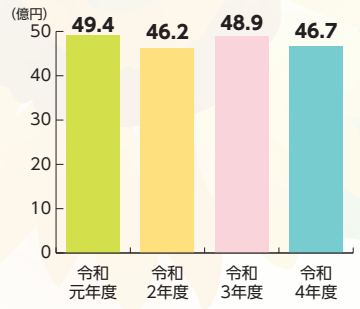
事業実績

購買事業（営農・生活）

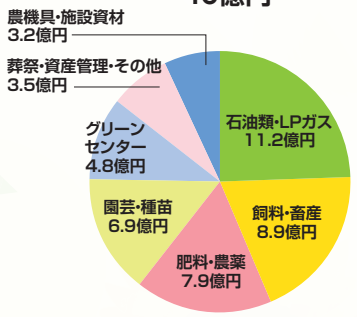
令和元年度からの3年間において当ＪＡが実施した農業生産性向上対策支援事業を活用した先進機器等の導入を進めました。

生産資材の価格の高止まり、原油価格の高騰が続く中、安価で安定的な供給に努めました。

購買品供給総取扱高の推移



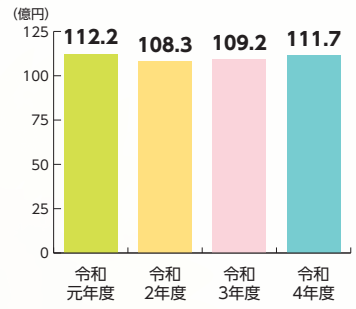
購買品供給総取扱高の内訳
（令和4年度）
46億円



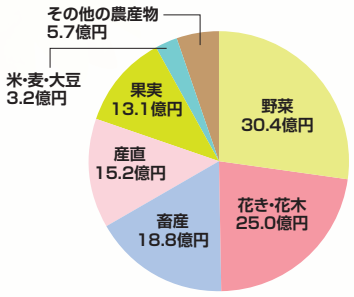
販売事業

自己改革工程表に記した契約販売及び予約相対取引の拡大に取り組み、販売価格の向上に努めました。グリーンセンターではオリジナルブランド商品などを積極的にＰＲし、安全安心な地元産農畜産物の消費を促しました。

販売品販売総取扱高の推移

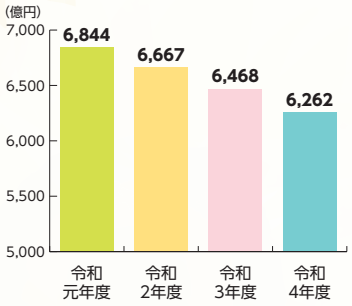


販売品販売総取扱高の内訳
（令和4年度）
111億円



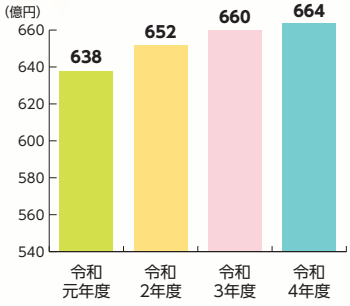
信用事業・共済事業

長期共済保有高の推移



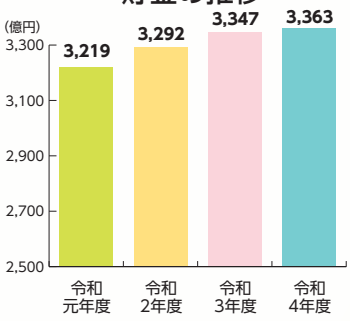
保障ニーズの変化に伴い、長期共済保有高は減少傾向にあります。利用者への訪問による「あんしんチェック」を基盤とし、ニーズに沿った提案を行いました。また、共済の新しい仕組みや制度などを共有し、安心できるくらしにつなげられるように努めました。

貸出金の推移



地域農業の振興と将来に向けた設備投資等を支援するため、農業融資の増加に取り組みました。農業融資を担当する職員の定期的な農家訪問により、組合員の意向に沿った各種提案を行いました。また、住宅資金では、業者との連携を密に行うとともに、相談機能の向上に取り組みました。

貯金の推移



ＪＡネットバンクサービスや、ＪＡバンクアプリの利用拡大をＰＲし、便利でより身近なサポートを提案するとともに、定期貯金のキャンペーンを行うなど、地域に根差した金融機関としての取り組みを行いました。キャンペーンではグリーンセンターでの買い物で使用できる地域農業応援券を発行しました。

令和4年度貸借対照表（令和5年3月31日現在）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
（資産の部）		（負債の部）	
1. 信用事業資産	347,121,772	1. 信用事業負債	337,838,895
2. 共済事業資産	13,668	2. 共済事業負債	877,209
3. 経済事業資産	1,824,481	3. 経済事業負債	814,582
4. 雑資産	440,024	4. 雑負債	554,242
5. 固定資産	5,528,690	5. 諸引当金	1,858,770
6. 外部出資	10,662,765	**負債の部合計**	**341,943,699**
7. 繰延税金資産	623,966	（純資産の部）	
		1. 組合員資本	25,037,775
		2. 評価・換算差額等	△ 766,105
		純資産の部合計	**24,271,670**
資産の部合計	**366,215,369**	**負債及び純資産の部合計**	**366,215,369**

令和4年度損益計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位：千円）

科目	金額	科目	金額
事業総利益	**5,045,639**	事業外収益	300,581
信用事業総利益	2,384,656	事業外費用	89,195
共済事業総利益	965,254	**経常利益**	**960,958**
購買事業総利益	680,867	特別利益	24,783
販売事業総利益	655,874	特別損失	52,546
保管事業総利益	4,891	**税引前当期利益**	**933,194**
利用事業総利益	117,204	法人税等合計	222,820
宅地等供給事業総利益	32,199	**当期剰余金**	**710,374**
その他の事業総利益	244,616	当期首繰越剰余金	29,137
指導事業収支差額	△ 39,925	任意積立金取崩額	84,000
事業管理費	**4,296,067**	**当期未処分剰余金**	**823,511**
事業利益	**749,571**		

令和４年度剰余金処分案（単位：円）

科目	金額
1. 当期未処分剰余金	823,511,915
2. 剰余金処分額	786,817,477
（1）任意積立金	639,727,410
リスク対策積立金	48,000,000
デジタル化推進積立金	196,000,000
施設整備積立金	375,000,000
地域農業振興積立金	10,000,000
税効果調整積立金	10,727,410
（2）出資配当金	55,428,034
（3）事業分量配当金	91,662,033
信用事業	72,492,603
購買事業	12,074,950
販売事業	7,094,480
3. 次期繰越剰余金	36,694,438

総代会資料について

総代会資料を希望される方は、お近くの本支店にてお渡しします。また、ホームページにて閲覧いただけます。右のQRコードよりご確認ください。

組合員の皆様へお知らせ

令和5年度の総代会記念品は農業応援商品券です。出資配当金のお知らせと同送します。

JAひまわり総代会記念「農業応援商品券」に関するQ&A

Q1.いつから使えますか?
A. ハガキが到着次第使用できます。期限の令和5年10月31日までにご使用ください。

Q2. 500円未満の買い物で使った場合、お釣りはもらえますか?
A. お釣りは出ませんので、500円以上のお買い物でご利用ください。

Q3. グリーンセンターやAコープで他の商品券やポイントと同時に使用できますか?
A. 同時に使用することも可能です。

Q4. 家族名義の商品券も1度にまとめて使っても良いですか?
A. 合計金額以上のお買い上げで使えます。名義人の了承を得たうえで、ご使用ください。

Q5. 生産購買窓口では何が買えるのですか?
A. 肥料や農薬、生産資材などをご購入いただけます。

Q6. 通知ハガキを捨てたり、無くしてしまったら再発行できますか?
A. 再発行はいたしません。無くさないようお願いします。配当金明細については、お手続きにより発行できます。支店窓口へお越しください。

Q7. JAひまわりの組合員なのに、ハガキが届きません。
A. 今回の配当金及び商品券は令和5年3月31日時点で組合員である方が対象です。その時点で組合員であるのに届かない場合は、最寄りの支店へお問い合わせください。

Q8. 送られてきたハガキが雨で濡れており、開く際に破損してしまいました。どうしたら良いですか?
A. ハガキは乾いた状態で開くようにしてください。破損したもの（ハガキ全体）を提出していただければ、総務課にて対応します。各支店窓口までお持ちください。

【お問い合わせ】ＪＡひまわり本店総務課　85・3171

令和5年度 事業計画

営農部

第3次長期基本構想における「地域営農ビジョン」の中間目標年度である令和4年度を迎え、これまでの取り組み成果と課題を整理し、令和8年度へ向けた地域農業振興支援の目標設定と目標達成に向けた取り組み方策を新たに設定しました。令和5年度から令和8年度までの最重点目標を「生産者一人当たりの出荷量増加と販売力強化による販売金額向上」と掲げ、新たに設定した「地域営農ビジョン」を基軸として取り組んでいきます。

特に、本年度は第10次中期総合計画の最終年度に当たることから、多様化する農業形態に対応した担い手の育成・支援の強化を行っていきます。就農インターン制度等を活用した新規就農者及び親元就農支援を継続して行うとともに、農地の有効利用に向けた仕組みづくりを行います。

総合施設整備計画においては、青果・花き集出荷場、営農管理棟の利用開始に向けた準備を行っていきます。営農関連施設再編後の利便性向上に向けたフォロー活動の強化に努めていきます。

なお、昨年度より設定された「JAひまわり自己改革工程表」を今年度も設定し、生産者の売上増加・コスト低減に繋がる各種取り組みを続けていきます。



生活部

介護福祉事業・資産管理事業では相談会やセミナーを随時実施し、適切なサービスの提供を通じて安心なくらしの支援を行っていきます。

燃料事業においては、クミアイプロパン（LPガス）の利用先への定期訪問を実施し、ガス器具点検を行っていきます。また、利用者拡大に向けて、訪問営業活動やイベント開催を行い、関連業者との連携を進めていきます。

葬祭事業においては、多様な葬儀ニーズに対応するための体制を整備し、葬儀体験イベントなどの実施を通じた利用拡大を目指すとともに、利用者の満足度向上に努めます。



介護関連のセミナー



葬祭課で体験イベントを開催

令和5年度 事業計画

金融共済部

信用共済事業を通じた地元農畜産物のPRのため、地域農業応援キャンペーンを実施するなど、地域の活性化に繋がる施策に取り組んでいきます。農業経営を支えるための農業融資をはじめとした農家支援や、マイホームづくりへの相談機能を充実させ、組合員・利用者の期待に応えるサービスを展開していきます。

共済事業では、LA（ライフアドバイザー）による保障点検活動（あんしんチェック）を行い、利用者のくらしに沿ったひと・いえ・くるま・農業の総合的な保障提案を行っていきます。

総合整備計画では、こうごゆ支店の新設に向けた準備を進めていきます。蔵子支店、東上支店、広石支店の基幹支店への機能集約にあたり、渉外担当職員の出向く体制を整え、利用者の満足度の向上に努めていきます。



地域農業応援キャンペーン


丁寧な相談対応

管理部門

令和5年度も組合員との徹底した対話を通じた総合事業として「不断の自己改革」に取り組み、持続可能な経営基盤の確立・強化を行っていきます。「JAひまわり自己改革工程表」を基に、組合員・利用者の声を聴く機会を多く設け、事業に反映していきます。

組合員参画においては、これまで自粛されてきた女性部活動におけるイベントを状況を鑑みながら再開させ、地域の活性化に繋げていきます。

職員育成においては、当JAの人材育成基本方針である「自ら学び、挑戦し続ける」人材の育成のため、働きがいのある職場づくり、雇用体系の整備を行うとともに、組織風土改革を促進するプロジェクトなどを実施します。

また、令和6年度から始まる第11次中期総合計画への準備を進め、健全な運営、事業伸長ならびに、組合員・利用者のくらしの向上を目指します。


女性部総会


担い手との対話

新役員ご紹介

理事

（敬称略）



波多野　喜啓
総務委員長　事業所担当理事(御津町)



木藤　昇一
常務理事(経済事業担当)



吉村　正則
常務理事(信用共済事業担当)



伴野　雅章
専務理事(企画・管理担当)



今泉　秀哉
代表理事組合長(大木新町通)



今泉　京子
(大木新町通)



伊藤　浩已
(蔵子)



磯野　一則
事業所担当理事(赤坂町)



安藤　憲史
事業所担当理事(院之子町)



酒井　俊明
経済委員長(平井町)



中村　敏明
金融委員長(長沢町)



杉江　繁宏
事業所担当理事(豊津町)



河合　宏尚
(千両町)



小澤　岩次
事業所担当理事(六角町)



岡本　武志
(三上町)



大瀧　隆昭
(八幡町)



今泉　教夫
(東上町)



村川　和弘
(豊川仲町)



藤島　則枝
(平井町)



土方　敏由
(行明町)



中西　昌幸
(御津町)



外山　誓子
(当古町)



高橋　聖吏
事業所担当理事(篠束町)



山口　雅子
(御津町)



山口　直宏
事業所担当理事(白鳥町)

監事

（敬称略）



柿野　さと恵
員外監事



大井　年弘
常勤監事



大林　充始
代表監事(萩町)



種井　務
(御津町)



榊原　利男
(宿町)



近田　貴
(松原町)



神谷　隆行
(平尾町)



岡田　育子
(牛久保町)

5/24 畜産生産者が店頭で試食販売
地元産を味わって

肥育牛部会に所属する竹本克彦さんと養豚部会に所属する三石達夫さんは、店頭での試食販売を行いました。

竹本さんの生産する「とよかわ牛」は市内で生まれた子牛を育て、霜降りの柔らかい肉質とコクのある味わいが特徴です。三石さんの生産する「豊川エコポーク」はエコフィードと呼ばれる地元企業の食品残さを使用した飼料で育てられ、環境に配慮しています。あっさりとした脂身と柔らかさが特徴です。



▲とよかわ牛を店頭でPRする竹本さん（中央）



▲出荷されている袋詰めの赤シソ

5/29 初夏の風物詩 赤シソ出荷目揃え会を開催
こだわりの手摘みで高評価

出荷者組織協議会は５月29日、同ＪＡの中部営農センターにて赤シソの出荷目揃え会を行いました。今年は春先が暖かく、初出荷は５月18日と昨年より１週間早い出荷となりました。管内の産地の特徴として全て手摘みでの丁寧な収穫を行っていることから、収穫時の傷がつきにくく、軸など非可食部が混ざらないことで市場評価も高いです。

当ＪＡの赤シソは７月中旬ごろまで近在市場を中心に北海道の市場などへも出荷されています。

6/2 とよかわフラワープロジェクトがイベントを開催
砥鹿神社をバラで装飾

当ＪＡと豊川商工会議所による「とよかわフラワープロジェクト」は、６月２日の「とよかわバラの日」に合わせ、砥鹿神社にてバラのPRを行いました。今年で３年連続３回目の合同イベントとなりました。

400本のバラで砥鹿神社境内の手水舎や授与所を装飾するほか、６月限定でバラがデザインされた御朱印の販売を行いました。２日の「とよかわバラの日」当日は御朱印を購入した先着100人にバラの一輪ブーケを贈呈しました。



▲バラや地元の花のオブジェでイベントをPRするプロジェクト関係者

6/18

生産者が豊川市長・組合長へバラを贈る
父の日に向け鮮やかなバラをPR

バラ部会の女性部からなるローズメイトは、６月18日の父の日を前に、竹本幸夫豊川市長と権田晃範組合長に豪華なバラの花束とアレンジフラワーを贈りました。ローズメイトから父の日向けに市長と組合長へ花を贈るのは平成２年から毎年恒例となっています。

花束とアレンジフラワーには多くの品種が使われ、同部会のオリジナル品種である「プラチナダイヤモンド」、「コンキュサーレ」、「マリンジュエル」なども使われています。



▲組合長へバラを贈るローズメイトの役員ら



▲目揃会で規格を確認する生産者

6/16

アールスメロン出荷目揃会
贈答用として人気

アールスメロン生産者組織協議会東ブロックは６月16日に東部営農センター出荷場にて目揃会を開きました。

今年は曇天や雨が多く、小玉傾向でしたが、生産者の丁寧な管理により品質は良好です。お中元や盆用の贈答品として毎年人気があります。

当ＪＡのアールスメロンは近在市場などに出荷されるほか、管内のグリーンセンターや産直ひろばでも販売されており、化粧箱を使用しての発送も可能です。

6/18

生産者が「ボイメンのあいち農業塾!2023」で紹介される
人気ご当地アイドルが豊川市産農産物の新鮮な美味しさにびっくり

当ＪＡ管内でアスパラガスを生産する能勢真範さんとブルーベリーを生産する中山峰子さんのほ場で、東海テレビ「ボイメンのあいち農業塾！2023」の撮影が行われ、６月18日に放送されました。

番組では東海地方出身・在住のご当地男性アイドルグループのボーイズ・アンド・メンのメンバーらが同ＪＡで生産が盛んなアスパラガスとブルーベリーの収穫を体験し、収穫したアスパラガスとブルーベリーを使った料理も紹介されました。



▲出演者と笑顔を見せるアスパラガス生産者の能勢さん（左から4番目）



アールスメロンの頭のTの文字のようなツルはメロンの幅に合わせて切ります。

now 農 -Farmers- ファーマーズ

農畜産物を
生産・出荷している方を
ご紹介します

vol.8

アールスメロン
生産者組織協議会所属　**大林　利光**さん

今年は良いものが作れたと毎年言えるように

網目の割れ始めが最も大事

およそ34アールの温室でアールスメロンとトマトを栽培している利光さん。夏の始まりとともにアールスメロンの出荷作業に追われます。1玉の重さが約1.5kgあり、1シーズンに8,500玉ほどを収穫します。アールスメロンは天候の影響を大きく受けるので、栽培が非常に難しい果実です。利光さんが最も気を遣うのは網目の割れ始めのタイミングがベストかどうか。この時が品質の分かれ目です。アールスメロンは網目の綺麗さや均一さによって等級が変わるため、特に見た目が重視される果実です。利光さんの行う土耕栽培では水分管理が重要で、綺麗な網目を形成するために、畝の間に水を流し込む時もあります。また、梅雨の時期は反対に水を与えすぎて網目が裂けてしまうこともあるので、樹の状態と天候を毎日確認し、その都度必要な作業を行わなければいけません。

大切な人への贈り物として

温室ごとにタイミングは分かれますが、収穫作業が始まると1日中ひたすら収穫を行います。ハサミを使い、1玉ずつ丁寧にツルから切っていきます。そして1玉ずつ丁寧に磨き、出荷を行います。利光さんは20歳の頃から父親の農業を継ぎ、アールスメロンを栽培しています。栽培は毎年難しいのですが、困ったときにはアールスメロン生産者の先輩の話を参考にし、栽培技術の向上に役立てています。

利光さんは「今年はいいものが作れたと毎年言えることが理想。品質の良いアールスメロンを作り、地元のアールスメロンを大切な人に贈ってもらえたらうれしい」と話してくれました。



JAHIMAWARI

大林さんが所属している

アールスメロン生産者組織協議会

部会員数　26名
販売数量　152,000玉
栽培面積　7.5ha
販売金額　1.58億円

初出荷前に販売指導員がほ場を巡回し、糖度検査と果肉熟度の確認を実施するとともに出荷時にも糖度検査を行い品質向上に努めています。

部会とともに

販売指導課　アールスメロン生産者組織協議会担当
小林　恒喜さん



お互いの印象は？

大林さん：勉強熱心な方だという印象です。
小林さん：どんな話も聞いてくれる、参考にしてくれる方という印象です。

あなたにとってどんな存在ですか？

大林さん：参考になる情報を提供してくれる存在です。
小林さん：情報を共有したときに、実際に栽培に取り入れてくれるので、一緒に作物を育てている感覚です。

相手の方にメッセージをどうぞ！

大林さん：仕事では信頼しています。仕事以外では賑やかに盛り上げてください。
小林さん：「仕事は真剣に、賑やかなときは元気に」そんな関係性でいたいです。

recipe

オオバ

材　料〈4人前〉

タマネギ …… 1/4個
ゴボウ …… 1/3本
ショウガ …… 1片
アジ …… 4尾（400g）

A　塩 …… 小さじ1/4
　　こしょう …… 少々
　　しょうゆ …… 大さじ1/2
　　カレー粉 …… 小さじ1
　　スキムミルク …… 大さじ4

オオバ …… 8枚
サラダ油 …… 大さじ1
レモン …… 適量

作り方

❶タマネギはみじん切り、ゴボウはささがきにする。ショウガはすりおろしておく。
❷アジはぜいごを取ってから3枚におろし、皮を剥いで骨を抜き、包丁で細かくたたくように切って粘りが出るようにミンチ状にする。
❸❷に❶とAを入れ、粘りが出るようによく混ぜ合わせたら8等分にして丸め、オオバを付ける。
❹フライパンにサラダ油を熱し❸をのせて両面を焼き、皿に盛りレモンを添える。



アジとゴボウのオオバ巻き

げんきの源 Genki no minamoto

旬の野菜！ オオバ（シソ）



さわやかな香りと免疫力を高めるパワー

和食に使われる食材として、オオバは欠かせません。特有の香りと鮮やかな緑色が料理を格段においしくしてくれます。「和のハーブ」と呼ばれ、刺身などのつまはもちろん、薬味、オオバ巻きなど多くの料理に使われます。また、天ぷらなど、食材のメインとしても楽しむことができます。刺身のつまとして良く使われるのは、オオバには腐敗防止作用もあるからです。

オオバは青シソとも呼ばれています。シソは漢字で「紫蘇」と書き、本来は赤シソのことをシソと呼びます。青シソは赤シソの変種です。シソの花芽は「花穂ジソ」といい、シソは花穂や芽も料理の彩りとして使われます。

栄養価の高い野菜といわれるオオバは、βカロテンやビタミン、ミネラルが豊富で、免疫力を高める効果や貧血予防、疲労回復にも効果的です。夏の暑い時期には食欲が落ちますが、いつもの料理に刻んだオオバをのせるだけで、簡単に食べられます。しそジュースを作ってさっぱり飲むのもおすすめです。

愛知県は日本一のオオバの産地で、管内でも盛んに栽培されています。当ＪＡのつまもの部会ではインスタグラムで、オオバのおすすめレシピを紹介していますので、参考にしてみてください。

JAHIMAWARI_OBA

つまもの部会
インスタグラム

オジギソウ（学名：Mimosa pudica）は葉の表面に触れると葉を閉じることで知られている植物です。道端や畑など様々な場所で目にする機会も多いと思います。これまで、何のために葉を閉じているのか理由がはっきりされていなかったオジギソウですが、令和4年11月、日本の埼玉大学などの研究チームが何のために葉を動かすのかという理由を明らかにしたと発表し、英国科学雑誌「Nature Communications」にて公開されました。



健康や経済、先進技術などなど…　暮らしに役立つ知識をピックアップ

暮らしサプリぷらす
supplement of a living plus

オジギソウの葉が閉じる理由が判明！？

葉が閉じる仕組み

オジギソウは、葉枕（ようちん）と呼ばれる運動器官を屈曲させることで、葉を動かしています。この葉枕は茎の部分にある主葉枕と茎と葉の境目にある副葉枕、葉にある小葉枕の3種類に分かれています。主葉枕に接触や傷をつけるなどの刺激を加えると運動を引き起こし、茎が垂れたようになります。その後、電気シグナルとして刺激が葉に伝わり、葉を閉じます。この一連の動きがお辞儀をしているように見えることから「オジギソウ」という名前がついています。

葉を閉じる理由

今回、埼玉大学などの研究チームが発表した、オジギソウが葉を閉じる理由は、「自分の身を守っている」でした。この内容を明らかにするために、光るオジギソウを作り出して、バッタなどの草食性昆虫を用いた実験を行いました。

その結果、昆虫は葉を動かさないオジギソウをより多く食べることが判明し、葉を閉じることで身を守っていることが明らかになったのです。

オジギソウの研究の歴史は古く、チャールズ・ダーウィンの時代から研究されていますが、葉を閉じる理由が判明したのは、初めてのことです。

身近な植物にも不思議な魅力がたくさんあります。時には植物を観察するなど、自然のエネルギーを感じてみてはいかがでしょうか。

（参考：埼玉大学ホームページ
https://www.saitama-u.ac.jp）

縁あって農作物を作るつながりが広がった

EP.8



平松　好二さん
赤坂町

家庭菜園やガーデニングを楽しんでいる方をご紹介します

園 ガーデニング -Gardening-

家庭菜園を始めて約20年。かつて荒れ地だった自宅裏を畑にしてから毎年、野菜を育てています。この夏もトマト、オクラ、ナス、夏大根、ホウレンソウなどを植えました。美味しい野菜作りのために、市が配布・販売する堆肥チップを混ぜ込んだ土を使っています。家庭菜園も自然との戦いです。雨が続くと実が水に浸かり、ダメになってしまいます。また、野生のサルやシカ、タヌキなども新鮮な野菜を狙っています。サルは屋根に上って農作物を食べていくので困ったものです。

好二さんは自宅のほかにも、野菜作りを行っています。地元で耕作放棄地となってしまった土地を持つ人と、農作物を栽培したいけど土地がない人とを結びつけ、同世代4人のグループで野菜作りをしています。育てているのはスイカやサツマイモなどツルものが中心です。他にも、市内のナシ農家の草刈りを手伝ったり、カキ畑の手入れをしたり、知り合いのミカン農家の作業を手伝いに行っています。「出来ることをやっているだけだから」と作業を楽しんでいます。作業の御礼に果物やコメを渡してもらえることもあり、「取ったばかりの農作物は、何よりも美味しく感じる」と話します。自宅でも収穫したばかりの野菜で作る料理が一番美味しいそうです。

そんな好二さんは「今後は地域のサポートとして庭の手入れなどの違う分野でのつながりを広げていけたら」と話してくれました。



プロが教える
ワンポイント
アドバイス！

家庭菜園

Home vegetable garden

園芸研究家　成松次郎

「ナバナ」

晩夏から初秋に種まき

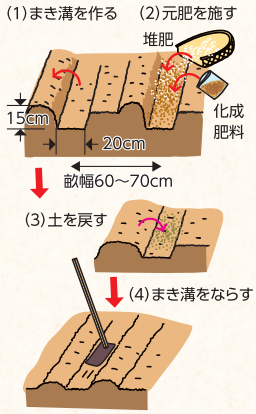
ナバナは童謡でも歌われる春の花。種子から菜種油を採取し、つぼみと若い茎葉を食べる野菜です。味に癖がないので、サラダやあえ物、おひたしなどでいただきます。晩夏から初秋に種まきし、年内から早春に収穫します。

1 品種

和種と洋種の2種類があり、和種は葉色が黄緑で花茎とつぼみと葉を利用し、洋種は葉色が濃く、主に花茎と葉を食べます。和種には、早生品種に「秋華」（タキイ種苗）、「早陽一号」（サカタのタネ）、「CR京の春」（丸種）、中晩生品種に「花飾り」（サカタのタネ）、「CR華の舞」（丸種）などがあります。洋種には、「三重なばな」や「のらぼう菜」などがあります。

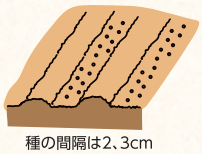
2 畑の準備

種まき、または植え付け2週間前に、1平方m当たり苦土石灰100gをまき、深く土を耕しておきます。1週間前に畝幅60～70cm、幅20cmくらい、深さ15cmくらいの溝を掘り、この溝1m当たり元肥として化成肥料（NPK各成分10%）100g程度と堆肥2kgを施して土を戻し、くわでまき床が平らになるようならします（右図）。



3 種まき

じかまきでは、まき溝全体に2、3cmくらいの間隔に種まきします（下図）。覆土後に十分灌水（かんすい）し、べたがけ資材で覆って発芽や幼苗を保護します。なお、苗作りをする場合、9cmポリポットに5、6粒まき、2回に分けて間引きして本葉5、6枚の苗に仕上げ、株間20cm間隔で畑に植えます。



4 間引きと追肥、土寄せ

じかまきでは、1回目は本葉2、3枚時に株間5、6cm、2回目は本葉5、6枚時に株間10cmくらいに間引き、さらに本葉10枚時に株間を20cmくらいにします（下図1）。最後の間引き後、畝の長さ1m当たり化成肥料30g程度をまき、軽く耕し、土寄せをしておきます。その後、1カ月に1回の割合で同様に追肥をします（下図2）。

図1

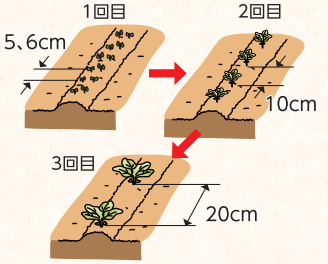


図2

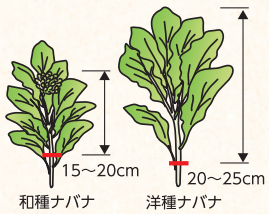


5 病害虫の防除

生育初期は防虫ネットで被覆し、その後アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、コナガにはアファーム乳剤、トアロー水和剤CTなどを使って防除します。

6 収穫

とう立ち後、和種ではつぼみが膨らんできたら、開花前に先端15～20cmを収穫します。洋種では本葉15枚くらいで上部を摘心し、脇芽を伸ばし、先端を20～25cmで収穫します。いずれも、各節から多数の脇芽を同様の長さで収穫します（下図）。



SDGsな女性部

SDGs

女性部のできごとをお伝えします



おふくろ隊



楽笑会・卓笑会

おいでん祭
暑さにも負けない女性部の活気

5月27日、28日に4年ぶりのおいでん祭が開催されました。女性部のブースでは、おふくろ隊、楽笑会、卓笑会が五平もち、みたらし団子を出店し、青空市生産者部会が野菜などを販売し賑わいました。当日は暑さが厳しい中にもかかわらず、女性部の元気な声が響き、お昼時には五平もちやみたらし団子に行列ができるほどの賑わいをみせ、多くの方に購入していただきました。また、商品が完売すると、仲間同士頑張ったねと互いに拍手を送りあい無事に終えることができました。

レクリエーション大会
運動を通じて交流を楽しむ女性部

6月6日にレクリエーション大会が開催され47人が参加しました。当日は、専務理事や事業所長も一緒に参加し、じゃんけん関所破り、フラフープくぐり、カントリーゲーム、パン食い競争、玉入れの5競技を実施しました。競技中もチームを応援する声援が絶えず、たくさんの笑顔あふれる大会となりました。参加者は、いろいろな人と交流ができて楽しかったと満足していました。

レクリエーション大会は来年も開催を予定しております。ご興味のある方はぜひ来年ご参加ください。



組織活性課 News

組織活性課では今後下記のイベントを予定しております。ご興味のある方はぜひご応募ください！

●8月10日(木) 夏の朝採り！露地野菜収穫体験
詳細はJAひまわりHPお知らせまたは
QRコードからご覧ください。

夏の朝採り！
露地野菜収穫体験
詳しくはこちら⬆

●8月24日(木) 親子料理教室
※親子料理教室の詳細につきましては、JAひまわりHPにてご案内させていただきます。

エリア活動グループを作って わい！わい！活動を始めてみませんか？

組織活性課ではわい！わい！活動を新たに始めるエリア活動グループを募集しています。エリア活動グループとは気の合う仲間同士で自分たちのやりたいことを実現する活動やグループを指します。

登録要件
- 1グループ5名以上のメンバー（組合員または組合員家族）で構成
- 年間4回以上の活動　など

詳しくは組織活性課（☎85･3195）までお問い合わせください。

JAひまわりの部署・職員を紹介します

To the future 未来へ



営農部花き課は11人の職員が出荷販売業務と営農指導業務を行っています。出荷販売業務とは花きセンターに出荷される花きの荷受け、市場等への配荷、有利販売の実践のことです。また、営農指導業務とは営農指導員が農家の温室に行き、生産支援を行う業務のことです。

金子創一課長補佐は「出荷物を有利に販売し、営農支援をしたい。所属職員にはお互いが協力し、個人の能力アップとともに部署全体の対応力を高めていきたい」と話してくれました。

営農部 花き課

豊川市三上町雨谷口34
☎82-1187



▲近藤さんが北海道旅行の復路で乗ったフェリー





▲野球観戦をする岩瀬さん

ピックアップ職員

営農部花き課
近藤　亮右さん

Q.好きなことは何ですか？
旅行

Q.最近感動したことは何ですか？
北海道旅行で食べた海鮮が美味しかった

目指す職員像
花きの産地として多くの人に知ってもらいたい。担当している品目は特に認知度をあげて生産者に貢献したい。

営農部花き課
岩瀬　遊飛さん

Q.好きなことは何ですか？
野球観戦

Q.最近感動したことは何ですか？
野球の観戦で声出しができるようになったこと（応援しているチームが勝つと最高）

目指す職員像
小さなことでも頼ってもらえるような職員。

グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ
イベント情報

グリーンセンター全店
産直ひろば中部・Aコープ小坂井店

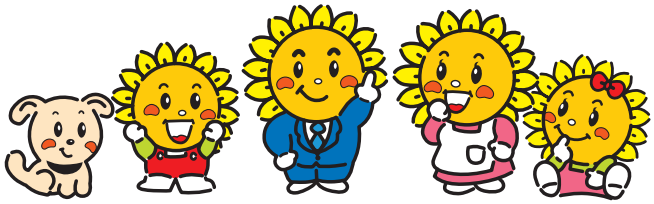
▶7月30日(日)　土用の丑の日
店頭にて、三河一色産うなぎの炭火焼き販売を行います。
事前予約がお得です。
※グリーンセンター音羽は焼いたうなぎの販売のみとなります。詳しくは店頭にてご確認ください。

グリーンセンター、産直ひろば全店

▶8月10日(木)～13日(日)　お盆大市
お供えセット、贈答フルーツ販売
▶8月31日(木)まで　宅配料金割引
グリーンセンター、産直ひろばではギフトや贈答品を含む宅配代を割引します。

グリーンセンター・産直ひろば・Aコープ
8月休業日のお知らせ

グリーンセンター豊川・一宮・音羽	8月15日(火)・16日(水)・17日(木)
産直ひろば中部	8月24日(木)
産直ひろば御津	無　休
Aコープ小坂井店	無　休



ガソリンスタンドより
お知らせ

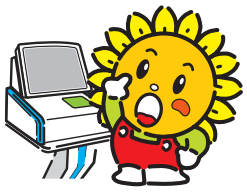
サマーキャンペーン2023
〈期　　間〉7月1日(土)～9月30日(土)
スロットチャンスで最大5円引き(ガソリン・軽油10L以上購入者)
毎週木、金曜日開催：赤塚SS、西部SS、小坂井SS
毎週土、日曜日開催：睦美SS、一宮SS、東上SS

県下統一キャンペーン2023第1期 実施中
〈期　　間〉7月1日(土)～8月31日(木)
期間中にSSでの給油・オイル交換・洗車・タイヤなどお買い上げレシート合計(合算可)2万円分または5千円分を1口として専用応募用紙(店頭にてお渡し)でアンケートにお答えのうえ、ご応募いただけますと、抽選で10万円分の旅行券などが当たります。また、新たに洗車レシート千円分を1口とする応募コースがはじまりました。ぜひご参加ください。(LINE統一キャンペーン専用アカウントより応募もできます。アカウントの再登録が必要。)
詳しくはSSスタッフまでお尋ねください。

〈お問合せ先〉

睦美セルフガソリンスタンド	☎84･3524
赤塚セルフガソリンスタンド	☎83･8607
一宮セルフガソリンスタンド	☎93･2064
東上セルフガソリンスタンド	☎93･5410
西部セルフガソリンスタンド	☎75･3711
小坂井セルフガソリンスタンド	☎78･2711

わい！わい！ポイント制度
来店スロットイベントの実施について



グリーンセンターなどのポイント記録端末設置店にて、端末機にポイントカードをセットすると期間中1日1回、スロットゲームがスタート！1P～100Pが抽選で当たります。
ポイントカードをご持参のうえ、ご来店をお待ちしています。

〈期　　間〉8月1日(火)～8月31日(木)
〈端末機設置店舗〉グリーンセンター各店、産直ひろば各店、Aコープ小坂井店、本店、三蔵子支店、牛久保支店、睦美支店、八幡支店、一宮支店

〈お問合せ先〉経理電算課　☎85･3171

各種相談のご案内

遺言・相続相談会

8月18日〈金〉
13:00～17:00（1日4組・1組50分間）
本店　組織活性課
☎85・3195

土曜共済相談会

8月 5日〈土〉
8月26日〈土〉
9:00～16:00
本店 共済課
☎85・3590

土曜・日曜ローン相談会

毎週土曜・日曜日
9:00～17:00
ローンセンター
☎56・7770

介護相談会

▶既に担当ケアマネージャーがいらっしゃる方は対象外です。

8月9日〈水〉
9:00～11:30
介護福祉センター
☎83・8580

葬儀相談

やすらぎ会館　☎85・0900
相談受付10:00～15:00

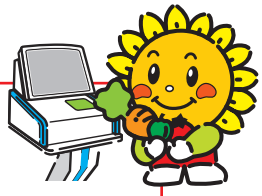
土地相談

不動産相談センター　☎89・6211

LPガス相談

燃料課　☎89・5558

▲各種相談は随時受付しています。
事前にお電話いただけると受付がスムーズです。



わい！わい！ポイント商品交換キャンペーン

大好評の「ポイント商品交換キャンペーン」が始まります。ポイント記録端末より、わい！わい！ポイントをメロンやナシなどの豊川産農畜産物や厳選商品に交換することができます。交換商品の詳細や交換方法は、今月号のチラシでご確認ください。

〈開催期間〉
7月15日（土）～8月13日（日）
〈交換場所〉
ポイント記録端末設置店（チラシ参照）



農機センター 8月休業日のお知らせ

中部農機センター	☎85・2555	無　休
西部農機センター	☎76・2200	無　休

MEMBER'S VOICE お便り紹介



貴重なご意見・ご要望をありがとうございます

皆様のご要望に応えられるよう、より一層努めてまいります

▼グリーンセンターでバラを買ってアレンジを楽しんでいますが、バラを栽培している方の熱い思いを知り、栽培の仕事の大変さも知ることができました。（30代　国府町）

▼6月の豪雨で床上浸水の被害にあいましたが、JA共済に加入しており、職員の方が素早く対応してくださったのでとてもありがたかったです。（60代　小坂井町）

▼森林保全活動の手作業は大変な作業だったと思います。苗木を守るために活動していることが知れました。（60代　篠束町）

▼未来の農業に対して個人として出来ることをやっていこうと思いました。（20代　伊奈町）

▼食料安定供給の大切さが理解できました。（40代　御津町）

▼大葉餃子・キャベツ餃子を知りませんでした。餃子大好きなので食べてみたい！（60代　御油町）

JAに対するご意見・ご要望を！

多くの組合員・利用者の皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。なお、次ページの専用はがき以外（官製はがき、封書）での投稿も受け付けています（その場合の郵送料は応募者負担です）。

グリーンセンターや産直ひろばで販売する農産物を使用する「地域農業応援店」を紹介します



New!

〈地域農業応援店〉

cafe moe
カフェ モエ

豊川市本野町中貝津65-1
☎86･4137

［営業時間］
9:00～18:00
［定休日］
木曜日、第1･3･5金曜日





地元野菜を使ったランチメニューと手作りのケーキが人気

カフェ　モエは平成18年にオープンし、創業時から変わらず、地元の農産物を使っています。地元の野菜は新鮮で、季節感があり、安心なところが魅力です。こだわりの挽きたてコーヒーと相性抜群のモーニングセットや、地元野菜がふんだんに使われたランチメニュー、手作りのケーキが人気です。日頃の疲れを癒す憩いの場として、ゆったりと過ごせるカフェです。



通りから見える看板が目印です

店主の山脇弘統さんと、妻の眞理子さん



「地域農業応援店」随時募集中 詳しくは企画課までお問い合わせください。☎85･3171

事業データ

販売品販売高	16億947万円
購買品供給高	10億4,428万円
貯金・定期積金	3,352億6,579万円
貸出金	662億4,723万円
長期共済保有高	6,229億7,969万円
年金共済保有高	75億8,845万円
組合員	正組合員　7,173人 准組合員　28,779人

令和５年５月31日現在

理事会決議事項

■と　き　令和5年6月21日（水）

■決議事項

- ●常勤役員の定数について
- ●組合長の選任について
- ●専務理事及び常務理事の選任と職務分掌について
- ●組合長事故又は欠員のときの代理順位について
- ●代表理事の選任について
- ●事業所担当理事の選任について
- ●専門委員会委員の構成及び委員長の選任について
- ●令和５年度理事報酬額の決定について
- ●退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
- ●監査契約書の締結について

以上議案は承認されました。

車で事故を起こしてしまったときは

共済課　☎85・3175（直通）

8:30～17:00（土日及び祝日以外）

夜間・休日の場合は　0120・258931（ジコはクミアイ）

（365日24時間対応）

キャッシュカード・ローンカードを紛失・盗難されたときは

金融課　☎85・3173　または　各支店窓口

9:00～17:00（土日及び祝日以外）

JAの安心コール　0120・089286（オヤクニハロー）（365日24時間対応）

プロパンガス・ガス器具のご用命は

燃料課　☎89・5558（365日24時間対応）

会館葬など各種葬儀のご相談は

葬祭課　☎85・0900（365日24時間対応）

日曜日は無料相談日（要予約）

アパート物件情報・不動産売買のご用命は

資産管理課　☎89・6211

今月のひまわりキッズ HIMAWARI KIDS



内藤　百花（ももか）ちゃん（2歳）　内藤　世淳（せいじゅん）くん（6歳）

内藤仁善さんと愛さんのお子さん　下長山町

Q.好きな食べ物は何ですか？

A.世淳くん：ピーマン　百花ちゃん：パン

Q.好きな遊びは何ですか？

A.世淳くん：ゲーム、虫捕り　百花ちゃん：すべり台、お絵描き

Q.ご両親からのメッセージ

A.いっぱい食べて大きくなってね。

キリトリ

Wai!Wai! Himawari　2023.8月号

●今回の特集に対するご意見をご記入下さい。

●ＪＡひまわりに対するご意見・ご要望などをお書き下さい。

キリトリ

グレー線部とのりで貼り合わせて下さい

のり

住　所		
〒　　－ 豊川市		
お名前	年齢	組合員区分
	歳	○を付けて下さい 正組合員 ・ 准組合員
電話番号		
（　　）　　－		

ご協力ありがとうございました

線に沿って折り曲げて下さい

個人情報保護のため、キリトリ線に沿って切り取りのり付けしてご投函下さい。

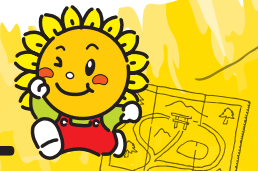
皆様から寄せられたご意見等は、毎月の定例会議などにおいて共有化を図り、迅速な対応や改善を心掛け、事業運営や組織活動に反映できるよう努めて参ります。

また、投稿用はがきにより取得した個人情報については、商品発送、ご意見等における対応以外の目的には使用致しません。

キリトリ

豊川市周辺のお出かけスポットをまりくんが毎月ご紹介します

お出かけまりてん



今月のお出かけ先

豊川市ジオスペース館

とよかわしジオスペースかん

豊川市諏訪１丁目63番地

市制80周年記念番組は豊川市と宇宙のつながりを教えてくれる番組だよ！





４月に光学式プラネタリウム機器を更新し、新しくなった豊川市ジオスペース館にお出かけしたよ！今回は本誌400号を記念に、たくさんの友達に集まってもらったよ！来てくれたみんな本当にありがとう。

図書館とプラネタリウムが併設されているのは全国的にもめずらしいんだって！宇宙って神秘的でロマンを感じるよね！



次はオアシスを探しにいこうかな！

Wai!Wai! Himawari

組合員とＪＡのコミュニティ誌 わい！わい！ひまわり

2023 AUGUST VOL.400 8

発行日：2023年7月20日

発行者：ひまわり農業協同組合　総合企画部 企画課

〒442-8517 豊川市諏訪１丁目１番地　TEL 0533(85)3171

広報誌はホームページでも見られます

ＪＡひまわりホームページ

https://ja-himawari.com/

本誌は、ＪＡひまわりの組合員向け広報誌(月刊)です。農業者以外の方でもＪＡの組合員になることができます。組合員への加入等については、当ＪＡの本支店窓口にお問合せください。

※山折りして記入いただいた個人情報をお隠し下さい。

キリトリ　キリトリ　キリトリ　山折り

POSTCARD

料金受取人払郵便

豊川局承認

3046

差出有効期間
2023年
10月31日まで

4 4 2-8 7 9 0

豊川市諏訪１丁目１番地

ひまわり農業協同組合 総合企画部 企画課

「Wai!Wai! Himawari ８月号」係

PRESENT

JAひまわり産

『アールスメロン』を

抽選で5名様へ

プレゼント!!



〈応募方法〉

裏面に住所・氏名・年齢・電話番号をご記入のうえご応募ください。また、ＪＡひまわりに対するご意見、ご要望などもお待ちしています。なお、当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

〈応募締切〉 2023年8月10日迄

※写真はイメージです